

# News Letter

VOL.3

大阪市立大学

大阪教育大学

和歌山大学

積水ハウス株式会社

## 2年目がスタートしました!

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」は2年目を迎えました。昨年度はキックオフシンポジウムや産学官連携ウィメンズイノベーションフェアなどのイベント、英語スキルアップセミナーや保育サポート研修などの企画を打ち出し、南近畿圏にダイバーシティの産声を届けました。今年は活動の定着を目指す年として、国内外の機関との連携、連携機関における職場環境実態調査・分析、成果発信に力を入れていきます。

平成29年度

## 「研究者の職場環境整備に向けた実態調査」報告書〈大阪市立大学〉を発行しました

研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるために、学内の職場環境に関するニーズの把握を行うことを目的に調査を行い、平成30年3月に報告書を発行しました。調査結果から、研究のための十分な時間の確保や労働条件の見直し、物理的設備、見通しのよい人間関係構築のためのサポートが求められていることが分かりました。

[http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/2018/03/26/news\\_20180326/](http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/2018/03/26/news_20180326/)

## WEBページを公開しました

本補助事業のWEBページが平成30年3月に完成しました。イベント情報や、共同研究に関する情報やロールモデルインタビューなどを掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://diversity-oows.jp/>



## ウィスコンシン大学マディソン校 Amy Wendt教授 国際アドバイザーに就任

今年2月に開催された、本補助事業キックオフシンポジウムに基調講演講師として招聘したウィスコンシン大学マディソン校(UW-Madison) WISELI®のCo-Director、Amy Wendt教授に補助事業に関わる国際アドバイザー就任の正式依頼を行うとともに、就任式をWISELI関係者全員の出席のもとに執り行いました。補助事業期間中、Amy Wendt教授には国際アドバイザーとして、ダイバーシティ推進のためのアドバイスなどを行っていただきます。  
※ WISELI: Women In Science Engineering Leadership Institute



### WISELIメンバー

Prof. Molly Carnes (Co-Director, MD)  
Dr. Jennifer Sheridan (Executive & Research Director)

Prof. Amy Wendt (Co-Director)  
Dr. Eve Fine (Associate Researcher) 他

### 第一日目 6/25 MON

- Amy Wendt教授 (College of Engineering), WISELI, Co-Directorへの国際アドバイザー就任にかかる委嘱状交付
- WISELIメンバーとの女性研究者支援に関する意見交換
- Hiring Workshop(多様な人事選考を進めるためのワークショップ)へのオブザーバー参加

### 第二日目 6/26 TUE

- MakerSpace, The Discovery Buildingの施設見学
- College of Letters & Sciencesの化学系女子大学院生とのダイバーシティに関する意見交換

### 第三日目 6/27 WED

- International Internship Program, International DivisionのMichelle Kern Hall DirectorとのBreakfast Meeting
- Wisconsin Energy InstituteのLab見学
- Tracey Holloway教授(環境研究及び大気・海洋科学、地球科学女性ネットワーク(ESWN: the Earth Science Women's Network)創設者)との女性研究者支援に関する意見交換
- WISE(Women in Science&Engineering)の取り組み 注: WISEは、WISELIとは異なる。
- 大貫-Tierney恵美子・文化人類学部教授と本学文学部・研究科研究者との連携に関する意見交換
- 工学研究科、女性研究者の国際的共同研究のための打合せ
- College of Engineeringと本学工学研究科とのMOU締結式

UW-Madisonに滞在したのは3日間という短い期間でしたが、女性研究者リーダー育成事業ワークショップの視察(オブザーバー参加)や意見交換など、びっしりとした米国のスケジュール(WISELI側のhospitality)をこなした結果、訪問の所期の目的以上の成果が得られました。



# Event Schedule

10月

19 FRI 大阪市立大学

平成30年度ダイバーシティ研究環境実現シンポジウム

## 「Women's Career Story 今こそ伝えたい未来へのメッセージ」

場 所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター10F 大会議室 時 間: 13:30~17:30

基調講演 久能 祐子(くのう さちこ)氏 S&R財団最高経営責任者(CEO)兼理事長

フロントランナーとして海外でのキャリアを切り拓き、世界で活躍する久能祐子氏。研究者から起業家へと転身し、日本と米国でバイオベンチャーを2社創業。2つの新薬を世に送り出し、フォーブス(アメリカ版)が2015年5月に発表した「米国自力成功女性50名」に日本人で唯一選ばれました。現在は、S&R財団理事長兼CEOとして、社会課題の解決に意欲的な若い起業家を育成するインキュベータ事業に取り組んでおられます。久能氏のこれまでの歩みの中でその時々節目においてどのように考え、何を選択してきたのか、これからキャリアを築く若い世代に伝えたいことは何か、ご本人から直接聞ける貴重なチャンスです。



### 【略歴】

工学博士(京都大学)。ミュンヘン工科大学、新技術開発事業団での先端研究を経て、1989年に日本で株式会社アールテック・ウエノ、1996年に米国でスキャンポフアーマシューティカルズ社を起業、上場。2012年に3社目の創業ベンチャーであるVLPセラピューティクス社を起業した。2000年S&R財団設立、理事長兼CEO。アート・サイエンス・ソーシャルアントレプレナーシップを統合的に支援するインキュベータ事業を推進している。

報告① 大阪における女性活躍推進の状況 ~管理職登用の観点から~

大阪商工会議所 人材開発部 研修担当課長 本奈美氏

報告② 女性社員の上位職登用の取り組み

積水ハウス株式会社 CSR部長 小谷美樹氏

パネルディスカッション 「“decision maker”としての生き方 ~多様なセクターで活躍する女性を迎えて~」

意思決定ポジションに就いて活躍される女性を多様なセクターからパネラーとして迎え、“decision maker”としての生き方や働き方についてお話いただきます。

### <パネリスト>

S&R財団最高経営責任者(CEO)兼理事長 久能祐子氏、和歌山大学 理事・副学長 呉海元氏、  
近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官 内海美保氏、ゴールデンダンス株式会社 代表取締役 中谷明子氏  
<ファシリテーター>  
大阪市立大学 大学運営本部 事務部長 折原真子

10月

2 TUE 大阪市立大学

## 第1回研究発表交流会「植物の色と食」

講 演: Pembangunan Jaya大学(インドネシア)学長 リナワティ・リマンタラ博士(理学)  
研究発表: 大阪市立大学 複合先端研究機構 藤井律子准教授、大阪市立大学 生活科学研究科 小島明子准教授  
和歌山大学 教育学部 山本奈美教授  
場 所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター1F 文化交流室 時 間: 13:00~16:00

4 THU 和歌山大学

国際ワークショップ

## 「Women's Empowerment through Local Resources Utilization 地域資源活用と女性 インドネシアの事例から(仮)」

場 所: 和歌山大学 西1号館(経済学部南棟) CTR会議室 時 間: 15:00~16:30

12月

4 TUE 積水ハウス株式会社

## 第2回女性研究者研究発表交流会「女性の生き方を考える2(仮)」

場 所: 積水ハウス株式会社 梅田スカイビル タワーウエスト22階 A会議室 時 間: 13:00~(予定)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ(牽引型)



### 連携機関

代表機関 公立大学法人 大阪市立大学  
共同実施機関 国立大学法人 大阪教育大学  
国立大学法人 和歌山大学  
積水ハウス株式会社

### ニュースレターに関するお問い合わせ

大阪市立大学女性研究者支援室  
OCU Support Office for Female Researchers  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
Tel: 06-6605-3661  
E-mail: ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp  
HP: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

発行: 平成30年9月



平成30年度  
連携型共同研究助成採択課題が  
決定しました！

連携型共同研究助成とは・・・

連携機関(大阪市立大学・大阪教育大学・和歌山大学・積水ハウス株式会社)に所属する女性研究者を研究代表者とし、2 連携機関以上の研究者による共同研究に対して研究費の助成を行う事業です。

今年度は、23件の課題が採択されました！

大阪市立大学…17件 大阪教育大学…2件 和歌山大学…3件 積水ハウス株式会社…1件

代表者(所属 職名)	研究課題	共同研究者(所属 職名)
<b>大阪市立大学</b> 西垣 順子 大学教育研究センター 准教授	青年・成人の発達要求と大学教育 —学習・研究要求の具体化とその支援のあり方を中心に—	白井 利明 大阪教育大学 教育学部 教授 岩野 清美 和歌山大学 教育学部 准教授 川地 亜弥子 神戸大学 人間発達環境学研究所 准教授
横山 久代 都市健康・スポーツ研究センター 准教授	若年女性の咀嚼力と骨密度との関係に及ぼす体組成の影響と 適正体重保持における咀嚼機能の介入効果に関する研究	福村 智恵 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 平井 美幸 大阪教育大学 教育学部 講師 山崎 祐子 大阪市立大学 医学研究科 病院講師
吉田 朋子 複合先端研究機構 教授	銀ナノ粒子・銀ナノシェル合成とその物性評価	矢嶋 摂子 和歌山大学 システム工学部 教授 門 晋平 和歌山大学 研究・社会連携課技術支援室 助教
山口 悦子 医学研究科 准教授	メディア・コンテンツを活用した効果的な 医療安全教育に関する実践的研究	丁子 かおる 和歌山大学 教育学部 准教授 掛屋 弘 大阪市立大学 医学研究科 教授 金子 幸弘 大阪市立大学 医学研究科 教授
齋藤 直子 人権問題研究センター 特任准教授	「新たな社会問題空間」としての被差別部落への転入と転出 —転入者・転出者へのヒアリング調査から探る人々の意識と諸課題—	神村 早織 大阪教育大学 教職教育研究センター 准教授 森 実 大阪教育大学 教職教育研究センター 教授
福村 智恵 生活科学研究科 准教授	都市部中学生の主体的な健康食習慣の習得を目指した 地域食教育プログラムの構築	早見 直美 大阪市立大学 生活科学研究科 講師 柴田 亜樹 大阪教育大学 教育学部 特任准教授 加賀 恵子 大阪教育大学 教育学部 特任准教授
菅原 真弓 文学研究科 教授	明治・大正、昭和初期の波止場文化と宣伝媒体の研究	天野 景太 大阪市立大学 文学研究科 准教授 小池 志保子 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 木川 剛志 和歌山大学 観光学部 准教授 村田 隆志 大阪国際大学 国際教養学部 准教授
岩崎 昌子 理学研究科 准教授	素核物理学実験における深層学習の適用研究： データ解析技術開発および教育教材開発	越桐 國雄 大阪教育大学 教育学部 教授 住浜 水季 岐阜大学 教育学部 准教授 大阪大学 核物理研究センター 特任准教授 谷口 七重 高エネルギー加速器研究機構 助教
足立 奈津子 理学研究科 准教授	鉱物沈殿機構を解読するための新規微生物岩解析法の確立 および教育教材としての活用	廣木 義久 大阪教育大学 教育学部 教授
鍋島 美奈子 工学研究科 准教授	高床式砂栽培農業施設を活用した都市農業が社会、経済、環境に 与える影響の分析 その2 地域コミュニティ形成に果たす役割と課題	佐久間 康富 和歌山大学 システム工学部 准教授 内田 佐和 東レ建設 トレファーム事業推進室 次長
杉田 菜穂 経済学研究科 准教授	共働き家庭の時間的貧困に関する調査研究	安達 智子 大阪教育大学 教育学部 准教授
上村 了美 理学研究科 研究員	ストレス環境下における遺伝子発現機構に関する基礎研究 ～非モデル生物からの挑戦II	古賀 庸憲 和歌山大学 教育学部 教授
小関 珠音 都市経営研究科 准教授	工業地域の再生と「豊穰化の経済」 —場所の記憶、ツーリズム、コミュニティ—	藤田 和史 和歌山大学 経済学部 准教授 川口 夏希 大阪市立大学 都市文化研究センター 研究員 立見 淳哉 大阪市立大学 経営学研究科 准教授
小島 明子 生活科学研究科 准教授	食品の機能性に関する食育教材の構築 ～栄養学・食品科学・教育学関連分野の横断的連携～	井奥 加奈 大阪教育大学 教育学部 教授 山本 奈美 和歌山大学 教育学部 教授
植松 千代美 理学研究科 准教授	倍数性種や種内倍数性を示す種を含む ツバキ属植物の系統関係の解明	岡崎 純子 大阪教育大学 教育学部 准教授
小池 志保子 生活科学研究科 准教授	大阪町家をサイトスペシフィックに活用する町家活用モデル	小伊藤 亜希子 大阪市立大学 生活科学研究科 教授 福田 美穂 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 確田 智子 大阪教育大学 教育学部 教授 西川 章江 大阪教育大学 教育学部 准教授
沼田 里衣 都市研究プラザ デニュアトラック特任准教授	コミュニティ音楽活動における図形楽譜に関する研究	上野 智子 和歌山大学 教育学部 准教授 菅 道子 和歌山大学 教育学部 教授 山崎 由可里 和歌山大学 教育学部 教授
<b>大阪教育大学</b> 平田 久美子 教育学部 教授	エクオールによる更年期女性の脱毛および 顔面の毛髪増加の抑制作用についての研究	森村 美奈 大阪市立大学 医学研究科 准教授
岡崎 純子 教育学部 准教授	島嶼における広域分布種ツリガネニンジン類(キキョウ科)の 多様性形成過程の解明	名波 哲 大阪市立大学 理学研究科 准教授
<b>和歌山大学</b> 岩野 清美 教育学部 准教授	教員養成大学・学部附属学校の研究成果の提供・還元の在り方に関する研究 —中学校社会科公民的分野「財政教育プログラム」を例に—	峯 明秀 大阪教育大学 教育学部 教授
秋元 郁子 システム工学部 准教授	高周波ESR装置を活用した光キャリアダイナミクスの研究	松岡 秀人 大阪市立大学 理学研究科 特任准教授
吉田 道代 観光学部 教授	都市における家族政策に関するジェンダー分析	新ヶ江 章友 大阪市立大学 人権問題研究センター・都市経営研究科 准教授 藤塚 吉浩 大阪市立大学 経営学研究科・創造都市研究科 教授
<b>積水ハウス株式会社</b> 河崎 由美子 総合住宅研究所 住生活研究所長	多世帯居住に関する研究開発	王 飛雪 大阪市立大学 生活科学研究科 特任助教 小伊藤 亜希子 大阪市立大学 生活科学研究科 教授

# Report

## 01 大阪市立大学

### 女性研究者短期留学報告会

平成30年 5月28日(月)

グローバルリーダーの育成、共同研究の推進を趣旨として「女性研究者短期留学報告会」を開催しました。当日は、女性研究者2名による報告と、和歌山大学 学長補佐、同大学観光学部教授の竹鼻圭子先生から、和歌山大学観光学部の国際的な研究力向上を目指した取り組みについて講演いただきました。



#### 報告者 1

「オックスフォード大学の教育と歴史  
—3週間の短期滞在で分かったこと感じたこと—」  
【平成30年3月オックスフォード大学東洋学部に3週間滞在】  
堀 まどか准教授(大阪市立大学大学院文学研究科 アジア都市文化学専攻)

#### 報告者 2

「イタリアにおける都市とイノベーション：  
『伝統産業』×『デザイン』」  
【平成30年3月パドバ大学に約4週間滞在】  
小関 珠音准教授(大阪市立大学大学院都市経営研究科 都市ビジネスコース)

#### コメンテーター

「和歌山大学観光学部のグローバルな取り組みと  
女性研究者国際ネットワーク」  
竹鼻 圭子教授(和歌山大学観光学部、学長補佐(男女共同参画担当))

### 研究力向上のための外部資金獲得セミナー

講師：中安 豪氏(ロバスト・ジャパン株式会社 代表取締役)

平成30年 8月27日(月)・9月6日(木)

国内初の民間URA組織として幅広い大学支援を行うロバスト・ジャパン株式会社より講師を招き、自身の研究の強みを検討して戦略立てを行うためのワークを行いました。セミナー受講者で希望した方には、個別支援として研究計画書の添削指導も行われました。

※連携機関(大阪教育大学・和歌山大学)には、テレビ会議システムで同時配信

## 02 和歌山大学

### 研究力向上セミナー

「国際学会誌への投稿方法に関するセミナー」  
講師：Dr. キャサリン・クーラティモア(オーストラリア、グリフィス大学)

平成30年 4月4日(水)・10日(火)

世界の大学でこれまで以上に出版を求めるプレッシャーが高まっている中、質量ともに兼ね備えた出版を行っていくためにはどうすればいいのか、期待されている成果にどのように応えていくのか、博士の講演を聞いて倫理性や戦略について考察を深めた後、参加者も交えて議論を交わしました。

「女性と観光の過去と現在—観光のジェンダー格差—」

講師：Dr. キャサリン・クーラティモア(オーストラリア、グリフィス大学)

平成30年 4月11日(水)

余暇の旅行市場では女性の観光客が増加しており、研究によれば、女性が1人で、あるいは女性同士での観光が増える傾向にあります。観光客の男女比においては女性の比率が驚異的に伸びているものの、観光地については男女比が残っているという状況に対して、研究者や観光客の立場で、この男女差をどうすれば改善していけるかについて検討を行いました。

## 03 大阪教育大学

### 英語プレゼンテーションセミナー

講師：アイリーン・ケリー氏(株式会社サイマルインターナショナル)

平成30年 3月15日(木)・16日(金)

プレゼンの効果的な始め方、印象に残るまとめ方、効果的なビジュアルエイド、質疑応答への対処の仕方など、高度なスキルの演習が行われました。学んだことを反映してプレゼンを行い、またそれをビデオで録画して評価するという手法で、実践的なセミナーとなりました。



### 保育サポーター養成セミナー

「大学におけるLGBTs学生支援の在り方  
～国内初の学生支援部署『早稲田大学GSセンター』での取り組みを通して～」

講師：大賀一樹氏(早稲田大学学生チューデントダイバーシティセンターGSセンター専門職員)

平成30年 6月25日(月)

学生や連携機関の職員等、総勢106名が参加し、LGBTsの基礎知識、現状、諸課題を共有し、講師が在席する早稲田大学GSセンターの成り立ちや活動実績を通して、学校における支援の重要性を学びました。参加者からは、既成概念にとらわれない性別の捉え方やセクシャルマイノリティ支援の在り方について理解を深める良い機会を得たとの声が寄せられました。

### ダイバーシティ推進セミナー

「『技術開発』から『ダイバーシティ推進・CSR』  
新しい価値の創造へ向けて」

講師：小谷 美樹氏(積水ハウス株式会社CSR部長)

平成30年 6月27日(水)

今回のセミナーでは教職員、学生あわせて約50人が参加しました。初めに、男女共同参画に関連した優れた活動を助成する「平成29年度大阪教育大学男女共同参画推進助成」に採択された3つの事業について、各代表者が報告しました。

続いて、積水ハウス株式会社CSR部長の小谷美樹氏の御講演では、同社のダイバーシティ推進に関する取り組みのうち、特に女性のキャリアアップ促進や家庭と仕事の両立のための働き方改革について、自身の経験を織り交ぜながら説明がありました。「これから組織が発展していくためには、性差や年齢、障がいの有無等に関わらず、すべての人材が活躍できる環境を整備し、多様な価値観を持つ人たちが協働することで、新たな価値を創造していくことが求められる」と述べました。

### 学童保育プログラム 「キッズサマーキャンパス2018」

平成30年 8月20日(月)・21日(火)

女性研究者をはじめとする教職員の子育て支援策として、児童の長期休暇に合わせた短期間の託児プログラムを実施し、ダイバーシティ研究環境の整備を図りました。大阪教育大学の学生や教員が企画した英語アクティビティのプログラムや、家族等が働く場所を見学し仕事の大切さを再認識するプログラム等を実施しました。

## 04 積水ハウス株式会社

### 第1回女性研究者 研究発表交流会 「女性の生き方を考える」

平成30年 3月30日(金)

多世帯居住についての研究を行っているウイメンズユニットメンバーの既往研究発表(大阪市立大学 小伊藤亜希子教授、王飛雪特任助教)、女性の生き方や家族の在り方についてのインタビュー視聴や、ゲストスピーカーとして国内外で活躍中の女性研究者(伊藤免疫アレルギー研究所 伊藤真里所長)を交えての活発なディスカッションを行い、研究者同士の親睦を深めました。

